

各都道府県知事 殿

文部科学省研究振興局長
森 晃 憲

令和 6 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（創意工夫功労者賞）
受賞候補者の推薦について（依頼）

文部科学省は、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として、科学技術分野の文部科学大臣表彰を行っています。

この度、令和 6 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰（創意工夫功労者賞）の受賞候補者について、下記のとおり推薦機関からの募集を行いますので、令和 5 年 9 月 20 日（水）までに、文部科学省研究振興局長宛てに文書により推薦いただきますようお願いいたします。

なお、本依頼につきましては、推薦機関のホームページ、機関誌等への掲載、貴下関係機関・関係者等へのメール送信など、積極的な広報・周知をお願いいたします。本表彰は、特定の分野・職域に限定されるものではなく、幅広い分野における様々な創意工夫が対象となります。特に、鉱工、農林、水産、運輸、通信、建設、保健衛生、電気ガス等の業務を所管している担当部局、企業、商工会議所等の担当部局を通じた広報・周知や、女性候補者の積極的な推薦についても、御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

推薦に当たっては、文部科学省ホームページの「公募情報」及び「科学技術分野の文部科学大臣表彰」に掲載されている「令和 6 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰候補者を募集します」を御参照いただきますようお願いいたします。

なお、推薦がない場合、文部科学省研究振興局長宛て文書による回答は不要です。

記

1. 表彰対象

○創意工夫功労者賞

優れた創意工夫によって職域における科学技術の進歩又は改良に寄与した個人又はグループ

2. 推薦期間

令和 5 年 5 月 26 日（金）～9 月 20 日（水）

3. 申請書類の提出方法及び提出先

推薦機関から、Box システム及び郵送により申請書類を提出してください。

（推薦要領に添付の「申請書類チェックリスト」により確認の上、提出してください。）

<提出先：郵送>

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2 文部科学省研究振興局振興企画課奨励室

<提出先：Box システム>

<https://forms.office.com/r/xiUwMSclPY>

4. 推薦要領等

○科学技術分野の文部科学大臣表彰

※募集・受賞（受賞者一覧）に関する内容を掲載しています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/hyoushou/1414653.htm



○令和 6 年度の公募情報

※令和 6 年度推薦要領（申請書類様式を含む。）、昨年度からの主な変更点、推薦機関一覧、リーフレット、説明会の案内等を掲載しています。

※リーフレットは、公報・周知に積極的に御活用いただきますようお願いいたします。本年度より受賞事例集を作成いたしました。リーフレットと合わせて積極的にご活用いただきますようお願いいたします。

https://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/attach/000029536_00008.htm



（担 当）

文部科学省研究振興局振興企画課奨励室 藤本、藤里、宮原

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

電 話：03-5253-4111（内線 4233, 4071）

E-mail：sinsyore@mext.go.jp（問合せ用）



令和6年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 「創意工夫功労者賞」の募集について

◆ 創意工夫功労者賞とは

本賞は、優れた創意工夫によって各職域における技術の改善向上に貢献した者（※）を対象とする表彰制度です。

（※）鉱工、農林、水産、運輸、通信、建設、保健衛生、電力ガス等の業務に従事する勤労者のうち、工場等における職長以下の工員、農林水産業従事者、医療補助者、研究所における研究補助員、技能職員及びこれと同程度の者

対象者：優れた創意工夫によって職域における科学技術の進歩又は改良に寄与した個人又はグループ（3名以内）

（主な要件）

- ▶ 創意工夫の内容：候補者の職域における創意工夫（発明・考案に限らず、広く技術などの改良・改善を含む。）によって、職域での技術等の改善向上に貢献した実績顕著なもの（社外・社内表彰等の受賞歴を有するなど）

【例】飛躍的な作業能率の向上、製品の品質の向上、コストの大幅な削減、未利用資源の活用、作物の増収、品種改良、傷害防止、公害・災害の防止など

- ▶ 年齢・学歴：制限なし
- ▶ 職歴：令和6年4月1日時点で、同一の職域に通算して5年以上勤務

応募方法：推薦機関（都道府県、省庁）から応募

■申請書類等は、文部科学省ホームページ（HP）からダウンロードしてください。

（申請書類等）



■応募方法等は、HPに掲載されている推薦機関（都道府県、省庁）にお問い合わせください。

（推薦機関一覧）



※原則として、勤務先の所在する都道府県が推薦機関となります。（中央省庁所管の団体に勤務する職員を除く。）

募集・選定スケジュール

令和5年5月26日
募集開始
（文部科学省）

令和5年6～8月頃
募集締切
（推薦機関）

令和5年9月20日
募集締切
（文部科学省）

令和5年9月～
審査
（文部科学省）

令和6年4月
受賞者の
公表

科学技術週間中
推薦機関にて
伝達式

（参考）令和5年度の創意工夫功労者賞は、480名の方が受賞されました。

令和5年度受賞事例集：https://www.mext.go.jp/content/20230526-mxt_sinkou02-000029650_5.pdf



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

申請書類の作成のポイント

【様式創工 1】候補調査書は、以下のポイントを参考に、わかりやすく作成してください。

5. 創意工夫の内容及び実績

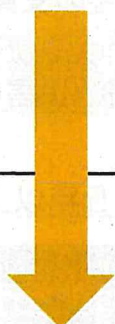
①創意工夫の内容

背景、現状、問題点（気づき）



改善前／後の違いが明確になるよう
図や写真を使い、具体的に、
分かりやすく記載してください。

解決のための創意工夫内容



②創意工夫の実績

創意工夫活動による実績、効果

作業の短縮時間、コスト削減等を
極力数値化して記載してください。

全体を通して、「」の流れが
明確になるように記載してください。

申請書類の作成の例

【様式創工 1】候補調査書は、以下の例を参考に、わかりやすく作成してください。

5. 創意工夫の内容及び実績

①創意工夫の内容

【背景】

〇〇工程では、〇〇コンベアのメンテナンスとして、〇〇作業を年2回の頻度で行うことになっているが、当作業は……という過酷な環境のもとでの作業であり、1回の作業に時間がかかっていることが課題となっている。

【考案点】

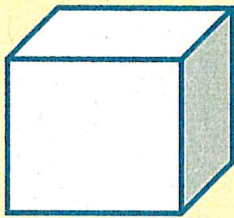
〇〇と〇〇を組み合わせで〇〇装置を考案した。

〈考案の3つのポイント〉

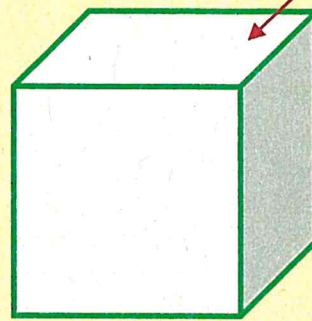
- ①……が簡単にできる。
- ②……の設定が容易にできる。
- ③……が同時に可能である。

〇〇と〇〇の組み合わせで、
〇〇が可能になった

改善前の写真または図案



改善後の写真または図案



②創意工夫の実績

【改善前】手作業による作業時間

$$\bigcirc\text{分} \times \bigcirc\text{箇所} \times 2\text{回} / \text{年} = \bigcirc\bigcirc\text{時間} / \text{年} \dots\dots\dots (1)$$

【改善後】〇〇装置を使用した場合の作業時間

$$\bigcirc\text{分} \times \bigcirc\text{箇所} \times 2\text{回} / \text{年} = \bigcirc\bigcirc\text{時間} / \text{年} \dots\dots\dots (2)$$

$$(1) - (2) = \bigcirc\bigcirc\text{時間} / \text{年の短縮}$$

・金額効果／年

$$((1) - (2)) \times \text{人件費}\bigcirc\bigcirc\text{円} - \text{改善費用}\bigcirc\bigcirc\text{円} = \bigcirc\bigcirc\text{円}$$

・その他の効果

今回の改善により、……の点で作業負担が大きく軽減された。

